

2011年度

科目名	社会心理学B				
担当教員	井上 徹				
配当	文 2・人間2		コード	14030	
開期	後期	講時	月曜日4限	単位数	2
授業テーマ	人間関係のダイナミックスを考える				
目的と概要	人間関係の心理を理解し、日常の対人関係に活かすことを目的とします。周囲の人々から影響を受け、また周囲の人々に影響を与えています。こうした人と人のダイナミックな関係の中で、我々の心理がどのように揺れ動いているのか、心理学という科学の立場から明らかにしていきます。この授業では、人が出会ったときの初期印象から、コミュニケーション過程、集団の心理などを概観します。				
成績評価法	各授業時間に提出するミニレポート(20%)＋前期末・後期末筆記試験の成績(80%)				
テキスト	特に指定しません。				
参考書	吉田 富二雄他著 2009『新編 社会心理学』 福村出版 藤原 武弘著 2009『社会心理学』 晃洋書房 藤本忠明・東正訓編 2004『ワークショップ人間関係の心理学』 ナカニシヤ出版				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	単に知識として理解するだけではなく、日常の人間関係を振り返るきっかけにしてください。事前に次回の予告をするので、いろいろな文献で当該の事項について調べておくこと。				
講義計画					
1. 対人認知の心理 (1)		人の印象はどう作られるか。最初の印象が大切。			
2. 対人認知の心理 (2)		パーソナリティの認知。人を見るときは気をつけないと。			
3. 対人認知の心理 (3)		What is beautiful is good. 美しさへの偏見			
4. 対人認知の心理 (4)		血液型性格学は本当か。ステレオタイプ			
5. 対人関係の心理 (1)		原因帰属、こんな結果になったのは誰の責任？			
6. 対人関係の心理 (2)		インターパーソナル・コンフリクト			
7. 対人関係の心理 (3)		ストレス、ストレスコーピング			
8. 集団の心理 (1)		集団研究の流れ。一人ですのとどっちがいい？			
9. 集団の心理 (2)		集団の特性と機能。集団目標、集団の規範。			
10. 集団の心理 (3)		リーダーシップを考える。「偉い」だけではダメ			
11. 集団の心理 (4)		小集団を活性化するために。状況の認知と合意の形成			
12. メディアの心理 (1)		流言・都市伝説など			
13. メディアの心理 (2)		マス・コミュニケーションの効果			
14. メディアの心理 (3)		日本のマスコミ 新聞・テレビの特徴とその問題点			
15. 後期のまとめ					